

人材養成等に関する目的	3つの方針
本学ホームページに掲載。 https://www.tus.ac.jp/about/graduate_school/purpose/	本学ホームページに掲載。 https://www.tus.ac.jp/about/graduate_school/policy/

	必修科目
	選択科目のグループ

※開講時期は年度により異なることがある

分野	科目群で身に付ける能力
科目必修	材料工学の専門分野を中心に実験・解析方法、さらに研究成果を発表する方法を学び、材料工学分野で自ら課題を発見・解決し、かつ研究成果を正確に表現できる能力を身に付けます。

修士課程1年次	
前期	後期
マテリアル工学特別演習1A	マテリアル工学特別演習1B
マテリアル工学特別実験1A	マテリアル工学特別実験1B

修士課程2年次	
前期	後期
マテリアル工学特別演習2A	マテリアル工学特別演習2B
マテリアル工学特別実験2A	マテリアル工学特別実験2B

材料物性工学	修士課程において修得した、材料工学の幅広い分野の専門的知識、材料合成、測定や解析技術を基礎として、自ら課題を発見し解決するために必要な、高度な専門性を有する研究開発能力を身に付けます。そのために、6分野の履修を隔年開講し、また修士課程1年・2年のどちらで履修できるように、科目が設定されています。
半導体材料工学	
金属材料工学	
有機材料工学	
材料プロセス工学	
システム材料、複合材料工学	上記の必修・選択科目のいずれでも履修されない材料工学の様々な分野の講義を履修し、従来の材料工学の特長にとらわれない幅広い専門分野の問題発見・解決能力の向上を目指します。その中で、特に学際領域や人間の感性に關わるような科学・工学分野の講義を履修し、社会と科学技術分野を繋ぐコミュニケーション能力を身に付けます。
教養(共通)	

修士課程1・2年次	
前期	後期
	材料物性工学特論A※
金属材料物理学特論A※	材料物性工学特論B
エクス線光学特論A※	電子物性工学特論A※
	電子物性工学特論B
	エクス線光学特論B※
	金属材料物理学特論B※
無機材料科学特論A※	無機材料化学特論B
セラミック工学特論A※	セラミック工学特論B
界面化学特論A	界面化学特論B※
生体機能材料工学特論	
フォトニック材料工学特論A※	
構造・機能材料工学特論A※	構造・機能材料工学特論B※
材料強度学特論※	
	有機合成工学特論※
	高分子化学特論
	結晶材料プロセス工学特論※
	環境半導体工学特論※
	結晶材料プロセス工学特論※
	フォトニック材料工学特論B※
	複合材料力学特論
	巨視/微視固体力学特論※
	マテリアル工学特別講義A
	マテリアル工学特別講義B※
マテリアル工学特別講義C	マテリアル工学特別講義D～L※(一部開講)
デザインイノベーション特論	

Materials 1Q Materials Science and Technology Overview C: Polymer※	Materials Science and Technology Overview B: Inorganic Materials	Materials Science and Technology Overview A: Metals	Materials Science and Technology Overview D: CompositeMaterials※
--	--	---	--

教養(共通)科目 全39科目
